１人１台端末の活用による実践事例　（小・中学校用）

学校名	井原市立芳井中学校	実践者名	関川　綾恵
教　科	国語科	学年	第２学年
活用内容	考えの共有 考えの表現	実践日	令和３年９月７日（火）
		授業活用段階 （岡山県版）	Stage２
単元・内容等	古典に親しむ～『枕草子』を読んで、千年以上も読み継がれる魅力や面白さ、表現の特徴を考える～		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

【前時まで】

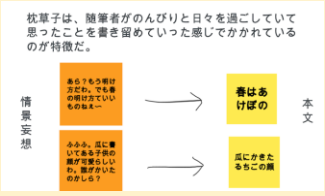
『枕草子』の第１段と第 145 段を読み、清少納言のものの見方や考え方を捉えるとともに、表現の特徴や魅力について考え、ワークシートに記入しておく。

【本時】

(1) 前時までの学習内容を、ワークシートを見て振り返る。

(2) 一人一人が感じた『枕草子』の魅力や面白さ、表現の特徴を出し合い、全体で共有する。(Google Jamboard を用いて、メモ書きした付箋を貼りつける。)

(3) 学級全体で共有し、それらを参考にしながら、最後は個人で『枕草子』が千年以上読み継がれる要素を決める。自分の考えを他者に納得してもらえるよう、必要な情報を整理し、分かりやすく伝えるための資料を Google Jamboard でつくる。



(4) グループ内で、端末の画面を見せながら、自分の考えを説明する。

(5) 学習のまとめと振り返りを行う。

実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
ＩＣＴを活用することで、従来の指導法よりもブレインストーミングを効率的に行うことができるため、意見形成において効果的だった。また、端末を活用し、他者の考えを共有することで、思考が刺激され、自分の考えをもちやすくなる。文章表現ではなく、伝える資料の作成として活用しているため、表現が苦手な生徒も意欲的に取り組むことができた。しかし、資料作成・説明だけであると、思考が深まらないため、この活動をもとに、再度考えを文章にまとめる活動を行うことで、よりねらいに近づくことができると感じた。	（生徒から） 「Jamboard でクラス全員の意見が見られたので、他の人の意見をつなげて、自分の考えをつくることができた。」「資料をつくるのは、文章を書くより簡単だったけど、その分発表のとき、言葉を足して伝えることに苦労した。」